

ナタネの成育のステップ

種まき



9月

耕す
土づくり



9月～10月

発芽



10月



ほ場養生

7月～8月



10月～11月

まびき
草取り

搾油



12月～1月

中耕



乾燥・調製

6月～7月



脱穀
ふるい

6月



6月

刈取り

5月



ナタネ
実った

冬を越す



菜の花
咲いた












3月～4月



なたねの栽培ごよみ

NPO 地域人ネットワーク

2011年度版

月	旬	主要作業・イベント	作業方法・栽培方法
9	中	 土づくり(草取り・耕運・施肥・畝立て)	基礎肥料(実効面積 900 m ²) ●油粕 80kg ●苦土石灰 80kg ●アラジン 444 相当化学肥料 60kg トラクター3回耕運、中型管理機、畝立機、手作業
	下		
10	上	なたね種まき	種まきごんべえスジまき 種まき要領 ●すじまき 1.5m畝に約 50cm 幅2条 ●株間隔 10cm (3~4粒) ●種の深さ 1~2cm
	下	草取り	直後に除草剤をまく トリファンサイド乳剤
11	上	本葉3葉の状態 状況により間引き作業 補間苗移植作業	
	下		
12		肥料追加(硫安 20kg)	
1		本葉5葉の状態 冬の前に畑を耕す(中耕)	
2		なたねの越冬	
3		花芽の出る前に畑を耕す(中耕)	肥料追加(硫安 10kg)
4	上	開花 	 10月  11月  2月
	下		
5	上	成熟期の3~4日前 成熟期の目安は開花の 終わりから30日前後	 9月  1500m  4月
	下		
6	上	刈取り 脱穀 乾燥 調製	 6月  6月  5月 ガラ処分・焼却
	下		

「ななしきぶ」とは「なな」は菜の花の意、「しきぶ」は大津市の石山寺で源氏物語の着想を得たという紫式部の故事にちなんで命名

ナタネ油しぼりのプロセス

2011年度版

NPO 地域人ネットワーク

2011年度版

昔ながらの機械圧搾法で1滴1滴搾っています。

ヤマキ食品に搾油を委託



ナタネ原料

ナタネ油用に栽培された国産の確かなナタネを使用しています。



2011年7月14日に精製したナタネ



焙煎

油を出やすくするために焙煎します。



搾油機

油を出やすくするために焙煎します。



原油

搾油機から油が出て来ます。



静置

1週間ほど静置し油分以外を沈殿させます。



濾過

濾過機械に入れて、油を精製します。



加熱

均一な品質を保つために加熱します。



ビン詰め

手作業で1本1本ビンなどに詰めます。



油粕

副産物の油粕は高品質の肥料として使用します。

このプロセスを再現

一連の工場のプロセスはヤマキ食品のホームページから引用



ナタネの基肥として畑に施す。

小型油しぼり機



購入元 : サン精機(山口県萩市)
型式 : 電動スクルー型搾油機
処理量 : 5 Kg/時間